



令和6年9月26日
統合幕僚監部

令和6年度日米共同統合演習（実動演習）
「K e e n S w o r d 2 5」について

自衛隊と米軍は、下記のとおり令和6年度日米共同統合演習（実動演習）を実施します。
本訓練は、強固な日米同盟の下、日米の即応態勢及び相互運用性を向上させるものです。
自衛隊と米軍は力による一方的な現状変更の試みは断じて許さないという強い意志の下、あらゆる事態に対応するための抑止力・対処力を強化し、我が国の防衛及び地域の平和と安全の確保に寄与していく考えです。

記

1 演習の目的

我が国防衛のための日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、共同統合運用能力の維持・向上を図る。

2 実施時期（基準）

令和6年10月23日（水）～11月1日（金）

3 実施場所（基準）

- （1）自衛隊施設、在日米軍施設及び区域
- （2）民間空港・港湾
- （3）奄美大島、徳之島、沖永良部島、我が国周辺海空域等

4 主要訓練項目

- （1）主要部隊司令部における指揮所活動
- （2）共同統合対艦戦闘
- （3）統合強制進入作戦（水陸両用作戦・空挺作戦等）
- （4）統合防空ミサイル防衛
- （5）島しょ防衛
- （6）海上交通の安全確保
- （7）重要施設等防護
- （8）統合後方補給・衛生
- （9）統合指揮通信システム
- （10）領域横断作戦の深化

5 演習参加部隊等

(1) 自衛隊

ア 統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部、情報本部及び自衛隊サイバー防衛隊

イ 陸上自衛隊

陸上総隊、各方面隊等

ウ 海上自衛隊

自衛艦隊、各地方隊等

エ 航空自衛隊

航空総隊、航空支援集団、宇宙作戦群等

(2) 米 軍

インド太平洋軍、太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍、太平洋海兵隊、在日米軍、インド太平洋宇宙軍等

(3) 同志国

豪軍及び加軍

6 演習参加規模

(1) 自衛隊：人員約 33,000 名、艦艇 約 30 隻、航空機約 250 機

(2) 米 軍：人員約 12,000 名、艦艇 約 10 隻、航空機約 120 機

7 その他

(1) 日米共同統合演習は昭和 60 年度に開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施。実動演習は今回で 17 回目にあたる。

(2) 豪州、加国、仏国、独国、印国、伊国、リトアニア、蘭国、新国、比国、韓国、西国、英国及び NATO からオブザーバーを招へい予定